



Title	1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1(55 外務省外交史料館レファレンス番号 : H222237)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.5 公開日 : 平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号 : 2010-6437 CD・DVD番号 : H22-013
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

55

漢

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 特秘	符号表示 暗 略 平	総第 18800 号
第 700 号	昭和 44.4.23 19.49	
大至急・至急・普通・LTF		発電係

主管 大臣 下田 臨時代理大使
 事務次官 藤野 代理
 外務審議官 藤野 代理
 官房長 藤野 代理

主管局部課(室)名 朱局長
 起案 昭和44年4月23日
 起案者 朱局長 電話番号 443

協議先 朱局長 朱局長

在 大使 臨時代理大使
 朱 下田 総領事 代理 藤野 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使
 藤野 総領事 代理 藤野

件名 沖縄通還問題 (南大臣・朱代理大臣公論)
 22日午後 木下ホーン代理大使に招致
 南大臣 功 下田局長を7時頃に派遣する
 その際、南大臣が朱時構行予定の物が有ることは
 ・11-110-の草案を朱例に呈示の上、
 せ(た)か(と)と伝え、(A) 目下起草

23 108

字 済

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七・一改正)

GB-1

中の11-110-の草案の考え(1)PPTの90A
 の抜削(特に経済増大)の増大 (2)沖縄の防衛
 (3)は、南大臣の草案に示す(4)朱例と12月
 治的見地から見て、と113-と114-
 (5)7月通還の時期と12 1972年中か
 決まらぬ、(6)基地の整備は、(7)55年
 適用する。即ち、(8)南大臣の草案、
 (9)その中、(10)植木の制限、
 (11)条約の運用、(12)日米の合意が有るから、
 考え、(13)を説明した。これは、
 は、PPTと113-の格差があると思われ、PPT
 の考えが、(14)と113-と114-と115-と116-と
 (17)の協議、(18)YESとNOと両方、
 (19)は、(20)と113-と114-と115-と116-と
 南大臣も有るに同意し、今後、(21)と113-と114-と115-と116-と

GB-3

外務省

連絡を以て之を速に公法に終了した。右の
 本大臣より沖縄の原潜放射能調査の目的
 の協力を要する旨が受入されたことより、
 好否を速に示す。 (尋問公法)

(3)